

# イチキ大工通信

お問合せ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

NO.6

いよいよ工事が始まりました！！

梅雨が明けていよいよ工事を開始できました！梅雨明け後は毎日灼熱の太陽で、作業は大変でした。でも子どもたちが現場を見に来てくれるので、みんなの顔を見ると不思議と力が湧きます！  
8月上旬は、基礎工事を進めました！



石を据えるために、重機で穴を掘ります

今回の基礎は、「礎石建ち(石場建て)」と言って、石の上に柱を建てていく構法です。伝統構法の、貫構法・土壁の家は、柔軟性のある家なので、この礎石建ちが最適な建て方です。建築基準法に沿った建て方ではありますが、申請するために重量計算をして柱の足元にかかる荷重を一本ずつ計算しています。礎石建ちは、床下空いているので、通気性が良く、シロアリなどの害虫も出にくいです。



砂とセメントを水を混ぜずに空練りしたものを敷きます(石を安定して置くための工程です)



70kg~100kg砂程ある石(小松石)を、手で運びました。



連日35度以上ある中、大工3人で石の据え付けを完了させました！達成感！！



置いた石が水平に置けているかを水平器で確認しています。



地面と石の高さが場所によって違うので、レベルという測量器を使って、高さを調べます。その後、それぞれの石の上にくる柱を、その高さに合わせて切ります。

## 鉋削り体験

石の据え付けがひと段落した夏休みの最後、見学に来てくれた子どもたちに、鉋（かな）削りの体験会を行いました。思ったよりも力の入れ方が難しく、驚いている様子の子供たちでした。中には何度も何度もやってみる子もいたり、削った屑を拾い集めて遊ぶ子もいたりし、楽しんでくれているので、私たちも嬉しかったです。



神田大工のお手本！！



こういった体験を通して、子どもたちにとってこの建て替えが「自分たちのこと」、「自分たちの過ごす場所」という意識に繋がってほしい思いがあります。そういった意識を持つことで、これから建つ建物への愛着や、大切に思う気持ちが育めるのではないかと感じています。

今後も作業の合間を見て機会を作っていくので、みんな学童を休まず通ってね！！



## 大工の紹介



佐藤 雅彦さん

ご紹介が遅れてしまいましたが、今年からイチキ大工で働いてくださっている大工の佐藤さんです。

佐藤さんは長年大工をやってこられて、大ベテランです。市来も大工として教わるばかりで、大変貴重な存在です。

優しい笑顔の佐藤さんは、既にくでん学童保育所の子供たちから人気で、自然と子どもたちが集まってきました。今回の建て替えの話をした際には、「子どもたちのために」という思いに共感してくれ、丁寧に作業してくれています！

子どもたちもホッとするのか、すぐに仲良くなって、そばを離れませんでした。心のオアシスのような存在！？

仕事時の真剣な顔とは違う、優しいあたたかな笑顔の佐藤さんです！

